



学校便り 琢磨

令和5年度 第5号 R5.5.19 三豊市立詫間小学校

教科書展示会について

香川県教育委員会からのお知らせです。できるだけ多くの方々に、令和6年度に全国で使用される教科書を見ていただくため、県内13会場で教科書展示会を開催するそうです。三豊市内では、「香川県三豊教科書センター」(三豊市役所内) 6月14日(水)～7月3日(月) 9:00～17:00で展示されます。なお、土曜日・日曜日は休館です。

栄光を讃える

5月14日(日)に開催されました「近県陸上カーニバル大会」の入賞者をご紹介します。敬称は略します。おめでとうございます。なお、表彰状の伝達は、5月29日(月)の全校集会で行う予定です。

- 5年女子 100m 第4位 15秒51 詫間 萌奈
- 第6位 15秒74 大平 惺久
- 5年男子 100m 第1位 14秒73 吉田 貫汰
- 6年女子 100m 第1位 14秒68 西原 詩
- 第4位 14秒90 橋本 怜
- 6年男子 100m 第3位 14秒19 田坪 希星



- 混合5年 4×100m リレー 第1位 60秒48
大平 惺久 吉田 貫汰 片岡 洸太 詫間 萌奈 (詫間小Aチーム)
- 混合6年 4×100m リレー 第1位 57秒93
西原 詩 田坪 希星 小林 蓮 橋本 怜 (詫間小Aチーム)
- 第7位 61秒83
大西 那央 山下瑠己翔 亀井 娃秀 田尾 美結 (詫間小Bチーム)



あいさつ「こいのぼり」完成!



あいさつ運動が始まった日



5日後(最終日)



完成!(赤いこいのぼりも)

真鍋校長の独り言 その3

お駄賃（おだちん）

今の子どもたちは、はたして、「お駄賃（おだちん）」という言葉を知っているのでしょうか？昔は、「〇〇を買ってきて。」とたのまれて、お使いに行くと、その買い物をたのんだ人から、「ありがとうございます。はい、これ、お駄賃ね。」と言って10円玉を1枚か2枚だけくれたものです。その多くは、お釣りの中から渡されることが多かったので、お釣りに50円玉しかないという場合は「もしかしたら、お駄賃、今日は50円もらえるかもしれない。」とわくわくしたものでした。そんな時もありましたが、お釣りとは別に、財布の中から10円玉を取り出して、「はい、お駄賃。」と渡される残念な場合もありました。（新聞の購読料は、当時は現在の5分の1くらいなので、感覚的には、当時の50円といえば、今の200円～250円くらいの感じでしょうか。）

このお駄賃、買い物などをたのんだ人からだけではなく、何と、お店の人からいただけることもありました。「よしきちゃん、いつも買い物のお使いに来てくれてるから、これお駄賃ね。」と、お金やお菓子などをいただけることもあったのです。昔は、コンビニエンスストアは、全くありませんでしたし、スーパーマーケットもめったにありませんでした。ですから、近所の「〇〇屋さん」に、買い物に行くしかなく、お店の方とは顔見知りというわけだったのです。私の家の近所（歩いて行ける範囲）には、今、思い出してみても、ガラス屋さん、電気屋さん、洗濯屋さん、散髪屋さん、魚屋さん、お肉屋さん、酒屋さん、たばこ屋さん、麴屋さん、八百屋さん、靴屋さん、帽子屋さん、氷屋さん、おいり屋さん、お米屋さん、中華そば屋さん、うどん屋さん…と、案外、たくさんのお店がありました。今は、もう、5分の1くらいしか営業していません。

今は、スーパーマーケットに行けば、コンビニでも、大体の物は買うことができますし、どう考えても、お店の人から「お駄賃」をいただけるなんてことは決してありません。

そもそも、お駄賃とは、「人や荷物を馬に乗せて運ぶ際の運賃」を「駄賃」と呼んでいたそうで、それが、「ちょっとしたことをたのんだ際に支払う対価」となったということです。

さて、私が「初めてのおつかい」をしたのがいつだったかは忘れてしまいましたが、昔の子どもは、買い物のお使いに行くのは当たり前でしたので、お店で、お使いにきた友達と会うなんてことも普通にありました。小学校の3年生くらいになると自転車で行きますので、早く買い物を済ませることもできましたが、その分、お使いの量が増え、行く店が遠くまで延びたということもありました。今では、信じられない内容のお使いもありました。家でゴロゴロしていると、父親から、「たばこを買ってきてくれ。ピース20箱とハイライト20箱たのむわ。」と言われ、たばこ屋さんに行っていたのです。今は、小学生には決してたばこやお酒は売ってくれませんが、当時は、お使いは子どもの仕事でしたので、たばこ屋さんで、クラスの女の子に会うなんてこともよくありました。「〇〇ちゃんのお父さん、何吸うの？」「エコー。」「うちは、ピースかハイライト。ピースはロングの方。まちごて、ショートピース買うてきたらおこられるんや。」なんて会話を、小学生が普通にしていました。たばこ屋のおじさんも、私の顔を見ただけで、「ロングピースとハイライトやろ。何箱？」といきなり聞いてきたものです。たばこ屋さんの隣は酒屋さんで、昼間からお酒を飲んでいるおじさんたちと目を合わせないように、買い物を済ませるすべも、自然に学んでいました。もちろん何かされるわけではないのですが…。

大らかな昭和の時代でした。いつの間にか、世の中は便利になり、近所のお店（専門店）がどんどん姿を消していき、買い物は1箇所済むようになってきました。もっと言えば、買い物もネット注文で家まで届けてくれる時代です。私には、昭和の時代が良かったとも、今の生活が良いとも、正直分かりませんが、「子どもの頃のお使い・お駄賃」が、とてもなつかしいなあと思うことに違いはありません。